

「全国学力・学習状況調査」および「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」の結果をお知らせします

市内の小学3年生から中学3年生を対象に「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」(以下、市調査)および「全国学力・学習状況調査」(以下、全国調査)を実施しました。結果の概要と学力向上の取り組みについてお知らせします。 ※調査により測定できるのは、学力の一部です。

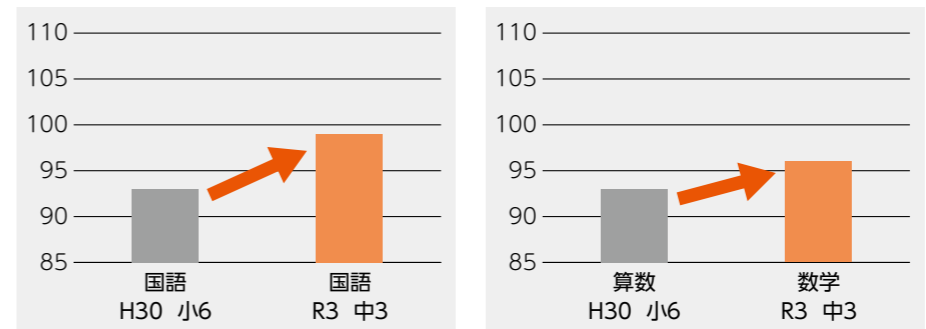
教科に関する調査

市調査において小学4年生算数で目標値を下回り、中学1、2年生の国語で目標値を上回りました。その他の各教科の平均正答率は±5ポイント以内で同程度の範囲にあります。

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	-1	-1	+1	±0	+5	+6	-1
算数・数学	-2	-5	-2	±0	-2	+1	-2

※小学6年生、中学3年生の国語、算数・数学は全国調査(網掛け部)、それ以外は市調査。
 ※全国調査は全国平均と比較(市の平均正答率-全国平均正答率)しています。
 ※市調査は目標値と比較(市の平均正答率-目標値)しています。

中学3年生が小学6年生だった時との比較(全国調査) 【全国を100とした本市の値】



全国調査において、中学3年生の子どもたちが、3年前の小学6年生の時に実施した結果と今年度実施した結果を比較すると、国語、算数・数学ともに着実に伸びていることがわかります。

学力向上に向けた本市の視点 【環境を整え、学びの根っこを育もう!】

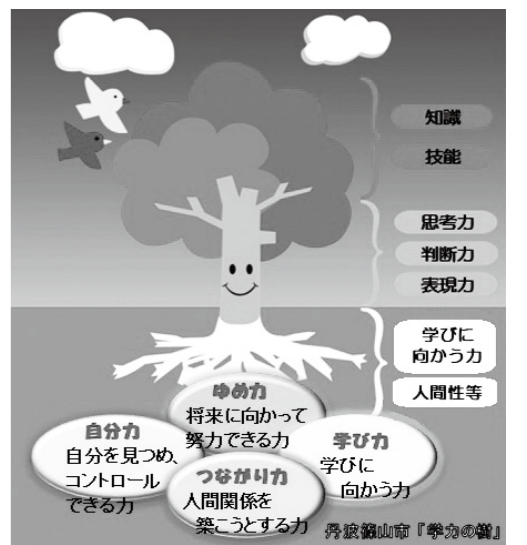
市では、子どもたちに育む学力を「一本の樹」ととらえて取り組んでいます。

「葉」は「知識や技能」、「幹」は「思考力・判断力・表現力」、「根」は「学習に向かう力・人間性など」ととらえています。

この学力の樹が育つ「土壌の栄養分」として、下記の「4つの力」を育むことを重視しています。「4つの力」を育み、栄養たっぷりの土づくりをして、学力の樹を大きく元気に育てることをめざしています。

また、「学力」を「個人の力」としてだけではなく「集団に属する力」として捉え、学級や学校で子どもたちが協働的に学び合う土台となる人間関係や学級風土など集団の状態も重視しています。

さらに、学校・家庭・地域の連携による「知の森」づくりを通じて、子どもたちの学力を向上させることをめざします。



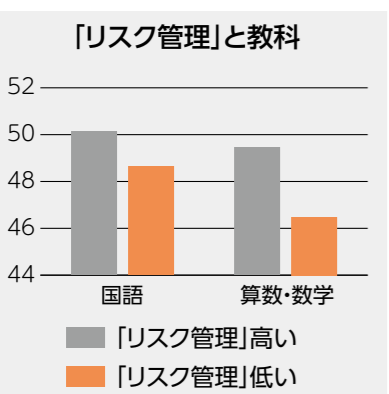
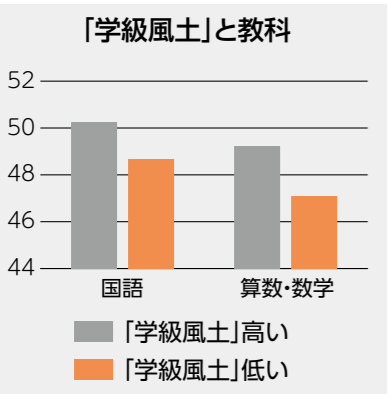
- ゆめ力** 「将来に向かって努力できる力」
- 自分力** 「自分を見つめ、コントロールできる力」
- つながり力** 「人間関係を築こうとする力」
- 学び力** 「学習に向かう力」



教育研究所 ホームページ

落ち着いた学習環境と安心できる人間関係が学力に影響します

市調査では、子ども一人一人の実態と学級の状況をより正確に把握するため、子どもの生活の諸側面や学級環境などに関する質問紙調査を実施しています。この調査の結果から、学級の状態に関わる項目と教科の得点に関連があることがわかりました。



「学級風土」「リスク管理」は、教科の得点に影響する

左上のグラフは、「学級風土」の数値と各教科の標準スコアとの関連を調べたものです。

「学級風土」は、学級の決まりが守られているか、学級が落ち着いた状況であるか、学級に対して子どもたちが肯定的な気持ちを持っているかなど、学級に対する子どもたちの評価を数値にしたものです。質問はあなたのクラスにはいいところがあると思いますか、「や」フラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか」などがあります。どちらの教科でも、「学級風土」の良い学級集団のほうが、標準スコアが高いことがわかります。

また、左下のグラフは、「リスク管理」の数値と各教科の標準スコアとの関連を調べたものです。「リスク管理」は、喫緊の課題で

地域の皆さんにも支えられています

全国調査では、丹波篠山市の子どもたちは地域の行事によく参加していることが分かっています。地域の行事に「参加したことがある」と答えた子どもの割合が、全国に比べて小・中学校ともに15ポイント程度上回っていました。「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答える子どもの割合も、年々高まっています。これは、地域の皆さんが日々子どもたちに温かい言葉をかけ、良い関係をつくってくださっているおかげです。

皆さんの声かけが、子どもたちの「つながり力」を育てる栄養になっています。

この項目でも、多くの子どもが人間関係に安心して過ごせる学級のほうが、標準スコアが高いことがわかります。

今後の学力向上の取り組み

今回の分析により、落ち着いた学習環境や安心して考えを伝えることができる関係性が学力の向上に影響していることがわかりました。

インターネットが当たり前になった現在、たいいていの情報は探せばどこかで見つかります。これからの未来を生きる子どもたちには、「一人一人が自分の考えを持ち、いろいろな意見を集め、新しい答えを作り出す」ような知性が求められています。

基礎的な知識や技能を使って自ら考え、判断し、表現することが大切になります。さらに、自分の考えをお互いに対話する中で深め、新しい問題を解こうとするような学びのあり方が求められています。そのためにも、「一人一人が思いつきや考えを安心して話せる」「自分が話すことがみんなのためになる」という学び合いの風土が大切になります。

学びの土台づくりを大切にします

全国調査では、子どもの基本的な生活習慣の安定が学習の安定につながることが報告されています。

また、学校や家庭での生活のなかで達成感や充実感を得る生活体験が、教科の学力を支える重要な要素であることも指摘されています。

市の生活習慣に関する調査結果は、例年、全国に比べて数値が高いです。地域や家庭における適切な関わりのおかげで、規則正しい生活習慣を意識する子どもが育っています。

「丹波篠山市文化財保存活用地域計画」を策定しました

問い合わせ 文化財課 ☎552・5792

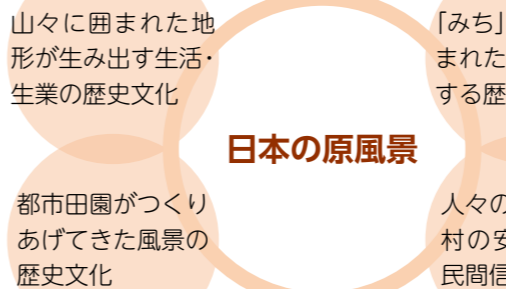
「文化財保存活用地域計画」

文化財保存活用地域計画(地域計画)とは、地域における文化財の保存と活用に関する総合的な計画で、平成30年の文化財保護法の改正により新たに位置付けられたものです。地域計画が法律に位置付けられたことで、地域の身近な文化財を地域全体で守り伝えていく体制が強化されました。

文化基本構想を策定し、未指定の文化財を含む全ての文化財を「歴史文化まちづくり資産(歴史資産)」と位置付け、4000件を超える「歴史資産」をリストアップしました。また、独自の取り組みとして「地域の歴史文化を活かしたまちづくり事業助成金」を創設し、まちづくり協議会や自治会などを対象に歴史資産を保存・活用する取り組みに支援を行ってききました。

歴史資産が数多く残されていること。「日本の原風景」といべき風景が広がっているところが、丹波篠山の魅力です。地域計画の策定時には、「日本の原風景を4つの特徴にまとめなおしました。さらに、旧町村を起源とする市内19地区(旧小学校区)ごとに、地区の成り立ちと歴史文化の特徴を整理し、本市の厚みある歴史文化の特徴を整理しています。

日本の原風景



地域の魅力あふれる歴史文化を生かしたまちづくり。地域計画に基づいて、今後地域主体の歴史文化まちづくりを支援していきます。また、地域計画概要版、まちづくり事例集の作成、フォーラムの開催などを実施し、市民の皆さんに歴史文化を生かしたまちづくりの事例を共有したいと考えています。地域に伝わる大事な歴史資産をどう守るか、どうやってまちづくりに生かせばいいのか分からないなど、お困りの地域がありましたらご相談ください。



住之江の庭

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が送付されます

西宮年金事務所 ☎079・333・2944

社会保険料(国民年金保険料)は、納付した全額が所得税と住民税の控除対象です。この控除を受けるには、保険料を納付したことを証明する書類の添付が必要です。

控除証明書の送付時期

○1月1日から9月30日までの間に納付された方 11月上旬

○10月1日から12月31日までの間に納付された方 令和4年2月上旬

※ご家族の国民年金保険料を納付した場合も、納付した方の控除に加えます。ご家族宛に送られた控除証明書も添付してください。

※年末調整や確定申告まで、大切に保管してください。

11月30日(火)は「年金の日」

「ねんきんネット」や「ねんきん定期便」で、ご自身の年金記録を確認できたり、受給見込額の試算ができたりします。

西宮年金事務所 ホームページ ↓



市は、令和元年度から2年度にかけて、学識者や市民行政関係者からなる協議会を設置し、計画策定に向けて協議を重ねました。市の歴史文化の特徴を改めて整理し、文化財の保存・活用の方針を取りまとめ、地域計画を作成し、令和3年7月16日開催の文化審議会答申を経て、文化庁長官の認定を受けました。今後は、市内に数多く残されている文化財を保存・活用するための取り組みを推進します。

本市では、平成23年に歴史文化基本構想の理念の継承

丹波篠山市の歴史文化の特徴は、市の歴史文化の特徴は、中世の荘園をルーツにもつ村々が基盤となつて、江戸時代には「城下町」「街道集落」「農村集落」として発展したこと、また、長い歴史の中で育まれ

丹波篠山市功労者表彰式 市政のさまざまな分野で功績のあった皆さんを表彰しました

問い合わせ 秘書課 ☎552・5109



市政のさまざまな分野で功績のあった皆さんをたたえる「丹波篠山市功労者表彰式」を11月3日、丹波篠山市民センターで行いました。受賞されたのは、自治・福祉などの分野から、次の皆さんです(敬称略)。

自治功労

- ▼前川修哉(天飼) 教育長として
- ▼酒井克典(岩崎) 教育委員として
- ▼青木芳信(瀬利)・山田良一(藤岡)・今西和義(後川奥)・吉良博之(不来坂) 自治会長として
- ▼澤光吉(細工所) 消防団長として
- ▼酒井勝彦(古市) 小林和子(真南条上) 人権擁護委員として

産業功労

- ▼酒井菊代(油井)・原久美味(間奥) 女性農業者のリーダーとして

福祉功労

- ▼市嶋弘昭(古市) 保護司として
- ▼石井眞美子(北野新田)・井務(東吹)・増田耕一(網掛)・酒井純子(南矢代) 介護認定審査会委員として
- ▼柳田恵子(池上) 介護認定審査会委員・障害支援区分認定審査会委員
- ▼赤木侑(野々垣) 身体障害者相談員として

教育功労

- 羽田登喜雄(八上上) 図書館協議会委員

文化功労

- ▼山取武(安口)・栗野章治(細工所) 伝統的建造物群保存地区保存審議会委員として

ふるさと功労

- 本郷ブツクサポーター・篠山チルドレンミュージアム「ミュージアム・クラブ」・ささやまビデオサークルレインボー・丹波篠山市民センターまつり実行委員会・ICTふれあいサロンサポートスタッフ

寄付功労

- ▼澤山勝(大阪市中心区) (故)谷口亮悦(神戸市北区)・藤木千皓(小中)・井関道夫(曾地奥) (故)谷田美子(東岡屋)・畑寛子(杉)・河津邦彦(東京都目黒区)・新免大輔(大阪市北区)・垣内治(三田市)・内藤正啓(愛知県豊橋市)

身体障害者相談員を委嘱しました(敬称略)

社会福祉課 ☎552-7102

委嘱期間は10月1日から令和5年9月30日までです。電話などで相談に応じます。身体に障がいがある方の生活上でのさまざまな相談に応じたり、必要な制度を活用できるよう援助するなど、福祉増進にご協力いただきます。

氏名	問い合わせ	担当地区	氏名	問い合わせ	担当地区
高見郁雄	090-2011-4431	市内全地区	酒井智彦	595-0004	丹南
畑史郎	552-4492	畑	溝畑文雄	594-0305	
向井清美	556-3403	城東	押部功	594-0977	味間
中西照子	556-3435		谷後英子	594-3458	
井尻信好	558-0447	多紀	河南京子	594-1595	今田・古市
辻本三和	090-1713-1002	西紀	宮崎敏美	595-0987	

27 特集(巻頭) 819 リポート 1011 コロナウイルス 感染症対策 1219 タウン トピックス 2025 市政 レーダー 2627 はぐくみ 2829 施設情報 相談 3033 インタビュー 3439 特集(巻末)

第11回丹波篠山景観写真コンクールの入賞作品が決定しました

市では、丹波篠山の魅力的な景観を残していきたい景観を多くの人に伝えるため、丹波篠山景観写真コンクールを実施しています。

第11回目となる今年度は「未来に伝えたい日本農業遺産のまちの原風景」をテーマに作品を募集し、市内外から64点の作品を応募いただきました。審査の結果、次のとおり入賞作品を決定しました。入賞作品は、12月11日(土)に丹波篠山市民センターにおいて表彰します。(敬称略)

最優秀賞

「育てる」

細見正弘(丹波市)



優秀賞(3点)



「夕映え」

星宗浩一(井ノ上)



「秀峰丹波富士」

安井猛(東吹)



「歴史を語る灰屋」

山口康博(加古川市)

日本農業遺産特別賞(2点)



「山芋掘」

近成恭司(宮田)



「黒豆収穫」

村上海凛(東吹)

入選(3点)

「収穫終えて」

芦田芳郎(大阪府)

「源氏ホタルの里」

松場綱一(丹波市)

「早乙女」

村上嘉生(東吹)

表彰式

とき 12月11日(土) 13時30分
ところ 丹波篠山市民センター

令和3年度丹波篠山市景観フォーラム

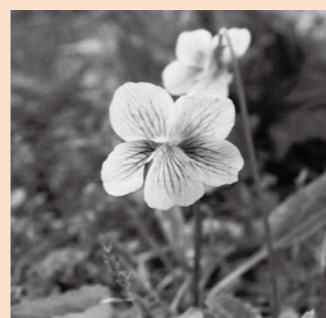
丹波篠山市は、素晴らしい景観を資産としてさらに保全・継承するため、景観まちづくりに取り組んでいます。

この景観フォーラムでは、丹波篠山市景観計画策定10周年を記念して、これからの「景観まちづくりの方途」を学びます。

講師は、地方都市での景観行政支援活動も盛んに行われている関西学院大学教授の角野幸博さんをお招きします。

皆さんのご参加をお待ちしています。

とき 12月11日(土) 13:30~16:00
ところ 丹波篠山市民センター
基調講演 「新たな景観まちづくりに向けて」
講師 角野幸博さん(関西学院大学教授)



ふるさとの貴重な動植物

ハリマスミレ(スミレ科)

濃紅紫の花のスミレと、白色で紫条のあるアリアケスミレの自然交雑種です。花の色は、淡紫色のものや、紫条は濃く、淡紫色で白色の部分が多いものなどいろいろです。気に入った色のスミレの種子を播いても他家受粉してしまいますので、同じ色の花が咲くとは限りません。スミレは蕾のまま花が開かない閉鎖花があり、その種子は自家受粉して他の個体の遺伝子が入ることがないので、播くと同じ色の花を咲かせます。ハリマスミレの和名は、最初に兵庫県加古郡播磨町で見つかったためです。

篠山自然の会・谷口次男さんの協力

問い合わせ 人権推進課 ☎5522・69226

問い合わせ 市民衛生課 ☎5522・6253

「冬のあいさつ運動強化週間 12月6日(月)~12日(日)」 「あいさつ運動啓発ポスター」受賞者が決定しました

最優秀賞



中学生の部
おがさわら
岡澤すばる
(西紀中学校1年)

優秀賞

大西結斗
(味間小1年)
信夫いろは
(城東小2年)
大井信之介
(味間小5年)
谷垣伸
(多紀小6年)
小川日千華
(丹南中2年)
田土真菜
(篠山東中3年)

「あいさつ運動」は全ての人を大切に、心を育む取り組みです。小・中学生を対象に、あいさつを題材にした啓発ポスターを募集し、審査の結果、次のとおり受賞者が決定しました。(敬称略)



小学1~3年生の部
さしちとあつさ
岸本篤来
(今田小学校1年)



小学4~6年生の部
のぶとき
信時あかり
(多紀小学校6年)

「人権フェスタ in 丹波篠山」で全ての応募作品を展示します

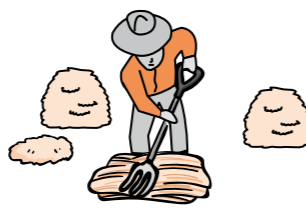
とき 12月7日(火)~12日(日) 9:00~19:00
(土・日曜日のみ10:00~17:00)
ところ 四季の森生涯学習センター
※12月14日(火)~17日(金)に市役所1階市民ホールでも展示します。

野外焼却行為(野焼き)は禁止です

廃棄物処理法では、一定の例外を除いて廃棄物は焼却できないことになっています。

農業者が行う稲わらなどの焼却は農業を営むためにやむを得ない例外規定として、焼却を認められています。煙などが近隣の迷惑になる場合がありますので、注意が必要です。燃やすものを小分けにして、良く乾燥させてください。風向きや時間帯を考慮しましょう。

野焼きが火災の原因になることがありますので注意してください。農業者が農業を営むために、畑の肥料となる焼灰を作る目的での灰屋での焼却は、例外規定に含まれますが、灰屋で家庭ごみを焼却することは禁じられています。



広げてよく乾燥させてください

マイナンバーカードの申請・受け取りがもっと便利に!

「申請時来庁方式」を開始します

市民課窓口では、これまでのマイナンバーカードの受け取り時に市民課窓口に来庁する「交付時来庁方式」に加え、「申請時のみ来庁する」申請時来庁方式を開始しました。

申請時来庁方式とは

申請時に窓口で顔写真を撮影し(無料)、本人確認と暗証番号の設定を行うと、後日、本人限定受取郵便または簡易書留でマイナンバーカードを自宅に郵送する方法です。

問い合わせ 市民課 ☎5522・52212

マイナンバーカード出張申請サポート

市職員が市内企業などを訪問し、顔写真の撮影から申請までの手続きを行う「出張申請受付」を実施します。後日、本人限定受取郵便または簡易書留で申請者の住所地に交付します。対象団体 市内に事業所を置く企業や、市内の地域団体(自治会、サークルなど) 実施日時 開庁日の10時~16時(それ以外の時間帯については応相談)

問い合わせ 地域計画課 ☎5522・1118

特集(巻頭)

8 ▶ 9 街かどリポート

10 ▶ 11 コロナウイルス 感染症対策

12 ▶ 19 タウンヒックス

20 ▶ 25 市政レーダー

26 ▶ 27 はぐくみ

28 ▶ 29 施設情報 相談

30 ▶ 33 インフォメーション

34 ▶ 39 特集(巻末)